

医師確保計画改定に向けた医療機関等への調査
対象（専攻医）

（はじめに）

○都の医師確保計画改定及び今後の医療施策検討に活用する基礎資料とすることを目的とし、以下のとおり調査を実施いたします。

○本調査の回答は、個人が特定されない形で会議資料等により公表することがありますので、御了承ください。

○都から医師奨学金の貸与を受けている方は、本調査は対象外です。

（別途「医師奨学金被貸与者」のみを対象とした調査を行いますので、そちらの調査回答につき、御協力をよろしくお願いいたします。）

なお、都以外の自治体や民間団体から奨学金の貸与を受けている方は、本調査の対象です。

※都の医師奨学金について⇒[特別貸与奨学金|東京都地域医療医師奨学金制度|東京都保健医療局](#)

Q 性別

- ・ 男
- ・ 女
- ・ 答えたくない

Q1 年齢

年度末年齢をご記載ください。

Q2 勤務先病院(任意)

Q3 現在選択している診療科を選択してください。

- ・ 内科
- ・ 小児科
- ・ 皮膚科
- ・ 精神科
- ・ 外科
- ・ 整形外科
- ・ 産婦人科
- ・ 眼科
- ・ 耳鼻咽喉科
- ・ 泌尿器科

- ・脳神経外科
- ・放射線科
- ・麻酔科
- ・病理
- ・臨床検査
- ・救急科
- ・形成外科
- ・リハビリテーション科
- ・総合診療科

Q4 診療科を選択した理由を選択してください。(複数選択可)

- ・やりがいを感じるから
- ・適正・才能があるから
- ・当直の回数が少ない
- ・急な呼び出しが少ない
- ・ライフワークバランスが確保できるから
- ・医局の雰囲気
- ・専門医の資格が取得しやすい
- ・将来にわたって専門性を維持しやすいから
- ・希望した病院に入職しやすい
- ・希望した地域で入職しやすい
- ・開業しやすい
- ・将来の需要予測、将来性
- ・収入が多い(バイト・副業のやりやすさ含む)
- ・医療行為によるリスク負担(医療訴訟等)が少ないと感じるから
- ・親族が開業している診療科と関連があるから
- ・地域医療(地元)に貢献したい
- ・先輩や教授に勧められたから
- ・地域枠等奨学金返還免除要件として指定された診療科だから
- ・その他(自由記述)

Q5 診療科を決定した時期はいつですか。

- ・臨床研修2年目
- ・臨床研修1年目
- ・在学中(臨床研修開始前まで)
- ・入学前

Q6 臨床研修前後で希望する診療科が変更になりましたか。

- ・ はい
- ・ いいえ

Q7 (Q6の質問で「はい」を選択した方)臨床研修前に最も希望していた診療科を教えてください (1つのみ選択)

- ・ 内科
- ・ 小児科
- ・ 皮膚科
- ・ 精神科
- ・ 外科
- ・ 整形外科
- ・ 産婦人科
- ・ 眼科
- ・ 耳鼻咽喉科
- ・ 泌尿器科
- ・ 脳神経外科
- ・ 放射線科
- ・ 麻酔科
- ・ 病理
- ・ 臨床検査
- ・ 救急科
- ・ 形成外科
- ・ リハビリテーション科
- ・ 総合診療科

Q8 (Q6で「はい」を選択した方)変更になった理由を教えてください。(複数選択可)

- ・ 臨床研修を行ってみて、他の診療科にやりがいを感じたから
- ・ 臨床研修を行ってみて、適性や才能がないと感じたから
- ・ 臨床研修を行ってみて、医局の雰囲気が自身に合わないと感じたから
- ・ 臨床研修を行ってみて、勤務形態が自身に合わないと感じたから
- ・ 臨床研修を行ってみて、ライフワークバランスを確保できないと感じたから
- ・ 他の診療科の方が将来性があると感じたから
- ・ その他(自由記述)

都の重点分野である小児・産科・救急、全国のシーリング対象外(病理、検査は除く)である外科・総合診療についてお聞きします。

Q9, 11, 13, 15, 17 「〇〇」を選択しなかった理由を教えてください。※診療科ごと質問 ※Q3で「小児・産科・救急・外科・総合診療」のいずれかを選んだ人は、回答不要。

- ・やりがいがないと感じたから
- ・将来性がないと感じたから
- ・ライフワークバランスが確保できないと感じたから
- ・適性がないと感じたから
- ・収入が低いから
- ・その他(自由記述)

Q10, 12, 14, 16, 18 「〇〇」を選択するのに、どのような支援が必要とお考えですか。※診療科ごとに質問 ※Q3で「小児・産科・救急・外科・総合診療」のいずれかを選んだ人は、回答不要。

- ・勤務内容に見合った収入
- ・キャリア形成支援・資格取得支援
- ・研究発表機会の創出
- ・医療ロボット・AI等の普及支援
- ・リモート診療の普及支援
- ・勤務先病院でのライフワークバランスの確保
- ・開業支援
- ・医療機関とのマッチング支援
- ・その他（自由記述）

Q19 現在のプログラムを選択した理由を教えてください。(複数選択可)

- ・プログラムの内容が充実していること
- ・優れた指導者がいること
- ・よく知っている医師がいること
- ・高度な医療機器があり、高度な技術や知識を習得できること
- ・臨床研究が優れていること
- ・大学病院であること
- ・大学病院でないこと
- ・特定の診療科・疾病に特化した医療機関であること

- ・ブランド力のある医療機関であること
- ・急性期の医療機関であること
- ・急性期だけでなく、慢性期・在宅・介護まで幅広く展開している医療機関であること
- ・医師不足地域での医療提供を行っていること
- ・豊富な症例実績があること
- ・博士号等の取得につながること
- ・出身大学あるいは出身大学の関連病院であること
- ・選択前に所属していた医局との関係があること
- ・臨床研修を受けた病院であること
- ・医学部の臨床実習を受けた病院であること
- ・厚生労働大臣が認定する医師少数区域認定医師の資格が取得できること
 - ・処遇(給与・福利厚生)がよいこと
- ・労働環境(勤務時間、当直回数)がよいこと
- ・出産・育児・子どもの教育の環境が整っていること
- ・ライフワークバランスの取組に熱心であること
- ・医局の雰囲気
- ・地域医療(地元)に貢献できること
- ・サブスペシャリティを取得しやすいこと(サブスペ連動型)
- ・短期間でのダブルボードを取得しやすいこと
- ・その他(自由記述)

Q20 専門研修終了後の勤務先はどのように決めますか。(複数選択可)

- ・所属医局の紹介
- ・各医療機関の募集広告
- ・有料職業紹介
- ・無料職業紹介
- ・日本医師会ドクターバンク
- ・親族が運営する診療所等を後継する
- ・その他(自由記述)

東京都地域医療支援ドクターについてお聞きます。

Q21 東京都地域医療支援ドクターを知っていますか。

- ・よく知っている
- ・少し知っている
- ・ほとんど知らない

- ・知らない

Q22 (Q21で「よく知っている」「少し知っている」と回答した方にお聞きします。)地域医療支援ドクターを何で知りましたか。

- ・広報東京都を見て
- ・月刊福祉保健を見て
- ・東京都のホームページを見て
- ・都立病院機構医師アカデミーからの紹介
- ・保健医療局 X (旧 Twitter) を見て
- ・地域医療支援ドクターからの紹介
- ・地域枠医師から聞いて
- ・その他

Q23 (Q21で「よく知っている」「少し知っている」と回答した方にお聞きします。)地域医療支援ドクターについて課題と考えることは何ですか。

自由記述

Q24 全員にお聞きします。地域医療支援ドクターへの応募者を増やすためには、どのような周知が効果的だと思いますか。

自由記述

Q25 普段御自身でよく閲覧するものや活用するものを教えてください。(複数回答可)

- ・ X (旧 Twitter)
- ・ Instagram
- ・ tiktok
- ・ YouTube
- ・ 広報東京都
- ・ 月刊福祉保健
- ・ 東京都のホームページ
- ・ 都立病院機構医師アカデミーHP 等
- ・ m3.com
- ・ HOKUTO
- ・ ヒボクラ
- ・ MedPeer (メドピア)
- ・ レジナビ
- ・ その他

質問は以上です。

御協力ありがとうございました。